

# 新任医師のご紹介

**外科**

しみず こういち  
**清水 康一**

専門・得意分野  
消化器外科、肝胆膵外科

資格等  
日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
臨床研修指導医

**内科**

ひびの しんや  
**日比野 真也**

専門・得意分野  
一般内科  
リウマチ・膠原病  
腎臓病一般

丁寧な診療で加賀地域の医療に貢献できるよう頑張ります。



**耳鼻いんこう科**

はりた まさゆき  
**張田 雅之**

専門・得意分野  
耳鼻咽喉科一般

資格等  
医学博士  
日本耳鼻咽喉科学会専門医  
臨床研修指導医

わかりやすく、丁寧な診療をこころがけ、加賀市民の健康向上に尽力してまいります。

**産婦人科**

わだ きょうこ  
**和田 杏子**

専門・得意分野  
産婦人科一般

資格等  
日本産科婦人科学会専門医  
母体保護法指定医  
乳がん超音波検診実施医  
「緩和ケア研修会」修了医

よろしくお願いたします。

**小児科**

なかにし ともき  
**中西 智樹**

専門・得意分野  
小児科一般

資格等  
PALS(小児二次救急処置法)プロバイダー

丁寧な診療をこころがけ、頑張ります。

**研修医**

もり まさひろ  
**森 雅博**

希望の診療科  
内分泌代謝内科、腎臓内科

趣味  
カラオケ

好きな食べ物  
寿司

先生方の指導も丁寧で救急も充実していることから、加賀市医療センターで研修をしたいと考え、応募しました。わからないことだらけですが、一つ一つ学んでいき、少しでも地域の医療に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

**研修医**

くどう せいや  
**工藤 誠也**

希望の診療科  
脳神経外科、整形外科、総合診療科

趣味  
城・離島巡り、料理

好きな食べ物  
うどん、珍味

学生時代に1ヶ月ほど総合診療科に実習にきました。その時の病院の雰囲気がいよと思ったので、研修医として再び戻ってくることを決めました。様々な基本的な診療能力を身に付けられるように、日々頑張っていこうと思います。

**患者さんと  
そのご家族へのお願い**

当院は、地域医療の貢献に寄与したいとの思いから、次世代の医療人の育成に積極的に取り組んでおります。

そのため、研修医が担当医となることがありますが、指導医による監督・指導のもと医療行為を行っており、安全の確保に努めております。

将来を担う医師の育成のため、ご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

**編集後記**

新型コロナウイルスに関する記事を作成するにあたって、やはり手洗いやうがい、消毒といった基本的な感染防止策が大事なのだと感じました。感染者数が落ち着いてきたからといっても気を緩めず、手洗いうがいなどを忘れずにしましょう。(I.H)

加賀市医療センター  
**広報委員会**

〒922-8522 石川県加賀市作見町3番6号地  
TEL 0761-72-1188(代) FAX 0761-76-5263(代)  
E-mail kikakukeiei@city.kaga.lg.jp

facebook いいね!

令和2年6月15日発行

# おもいやり

## 目次 contents

- P2
  - ・病院事業管理者からのご挨拶
  - ・病院長からのご挨拶
- P3
  - ・新型コロナウイルス感染対策で気を付けたいこと
- P4
  - ・新任医師のご紹介



**基本理念**

「おもいやり」  
私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、市民の健康を守ります



**基本方針**

1. 信頼される最適な医療を提供します
1. 救急搬送をこたわらない体制を目指します
1. 将来を担う優れた医療人を育成します
1. 地域に根付いた医療を実践します

## 病院事業管理者からのご挨拶

加賀市病院事業管理者  
清水 康一



令和2年4月1日より病院事業管理者に就任いたしました。

加賀市病院事業改革プランに沿って、「加賀市民病院」と「山中温泉医療センター」が統合され誕生した「加賀市医療センター」は開院5年目を迎えました。加賀市の中核病院として、市民の皆様へ安心・安全な質の高い医療サービスを提供することはもちろんのこと、新公立病院改革ガイドラインに沿った地域医療構想を踏まえた当センターの役割を担い、さらなる経営効率化の推進を目標に、全力でその職責を果たす所存です。

加賀市医療センターでは基本理念として、「おもいやり」— 私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、市民の健康を守ります — を掲げ、「信頼される最適な医療の提供」、「救急搬送を断らない体制」、「将来を担う優れた医療人の育成」、「地域に根付いた医療の実践」を基本方針としています。

センターの概要は、病床数300床（一般病棟214床（内ハイケアユニット10床）、地域包括ケア病棟41床、回復期リハビリテーション病棟45床）、診療科は25診療科、常勤医師数は初期臨床研修医5名を含めて50名です（令和2年4月1日）。病棟は、患者さんを見守りやすいダブル十字型の形状を採用し、HCU（ハイケアユニット）を除く290床のほとんどがトイレ、シャワー付きの個室で、全て同一規格です。病室ごとに室温調節ができ、患者さんのプライバシーや療養環境に配慮しています。差額室料は徴収しておらず、経済的負担もありません。

加賀市で唯一の急性期病院として、地域包括ケア体制の中心的役割を担っています。市民の皆様が安心できる救急医療体制を提供するために、関連大学病院からの支援を受けて内科系、外科系医師各1名による2名当直体制を実践しています。年間の救急搬送受け入れ件数は約2,800件、ウォークイン（自力で救急外来を受診する）患者数は約9,000人です。また、加賀市で唯一のお産ができる施設として、妊婦さんの負担を軽減するため、陣痛（Labor）から分娩（Delivery）、産後の回復（Recovery）まで同じ部屋で過ごすことができるLDR室2室を備えています。平成30年度の分娩件数は204件でした。人材育成においては、開院当初から積極的に医学生の研修を受け入れており、令和元年度からは基幹型臨床研修病院として研修医を受け入れています。令和2年4月時点で5名の初期臨床研修医が在籍し、将来を担う人材育成に努めています。地域医療の面では、地域連携センター「つむぎ」を設置し、入退院支援や紹介・予約等の地域連携業務に加えて、市の地域包括支援サブセンターを併設して在宅復帰支援など退院後の療養・生活支援にも努めています。

団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けての医療体制を構築するために、国は「地域医療構想」を進めています。少子高齢化が進展し、医療需要が変化中、当センターが持つ機能を十分に活用し、地域の医療機関との連携を強化し、在宅医療の支援に努めていきたいと考えています。市民の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らせる、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保された社会の構築に、少しでも貢献することが加賀市医療センターの使命だと考えています。市民の皆様には今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 病院長からのご挨拶

加賀市医療センター  
病院長 小橋 一功



平成から令和へ、加賀市医療センターは開院して5年目を迎えました。開院当初、常勤医37名でしたが、現在5名の研修医を含め50名まで増員できました。さらに充実した診療を提供できるよう努めてまいります。

市民の皆様へ安心・安全を第一とし、市内唯一の急性期病院として救急医療に尽力していますが、必要な方には療養型医療施設や介護施設、あるいは在宅へつなぐことにも注力しています。

しかし限られた医療資源ですので、市民の皆様のご協力が必要です。かかりつけ医を持つこと、適正な救急車の利用、自立がやや困難になってきた高齢者の早めの介護認定など、お願いいたします。スムーズな医療の流れを構築することが大切だと考えています。

当医療センターは、市民の皆様への財産です。今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 新型コロナウイルス感染対策 で気を付けたいこと

新型コロナウイルス感染症は、罹患しても約8割は軽症で経過し、治療する例が多いことが報告されていますが、高齢者や基礎疾患をお持ちの方は、重症化するリスクが高いことが報告されています。自分自身を守るため、そして、大切な人を守るため、下記の感染予防を行いましょう。

### 手洗い

- よく泡立てる
- 洗い残しの多い指先・指の間・親指・手首に注意
- 手洗い時間は全体で30秒間  
童謡「もしもしかめよ」を歌い終わるくらいが目安
- 泡が残らないようよくすすぎ、ペーパータオルでしっかり押さえ拭きする
- 手洗い後は、ハンドクリームで保湿し、手荒れを予防する

指輪・時計は外しておく



洗い残しやすい部位



特に洗い残しやすい 洗い残しやすい

### アルコール消毒

アルコール消毒も手洗いと同じところが抜けやすい!



- 両手をお皿にして受け止める
- 手のひらにすり込んだら、指先も
- 手の甲・指の間・親指にも
- 最後に手首までしっかりとすり込む

乾くまでしっかりすり込む



### 咳エチケット



マスクを着用

ハンカチやティッシュで口と鼻を覆う

袖で口や鼻を覆う

飛沫を外に出さないことが大事

### マスクのつけ方&外し方

ピッタリ!



あごを出さない

鼻を出さない

隙間を作らない

マスクを外すとき

外す時はマスクのゴムを持って外す

マスクの表面は汚染されているので、触らない



### やっぱり、基本的な感染予防が大事

### 『新しい生活様式』とは

- ▶一人ひとりの基本的感染対策
- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける
  - 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ
  - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
  - 外出時、屋内にいるときや会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用
  - 家に帰ったらまず手や顔を洗う、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
  - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

### ▶日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



※詳細な内容は、厚生労働省HP内の「新型コロナウイルスを想定した『新しい生活様式』を公表しました」をご参照ください。  
<https://www.mhlw.go.jp/index.html>